

図書館通信

静岡大学附属図書館報

No. 159



2009. 4

- 贈る言葉を本に託す
- 新ゲート設置
- 教員等著作寄贈図書一覧
- 図書館の動き
- 図書館利用セミナー（ベシック編）開催のお知らせ
- 開館日程（4月～7月）

贈る言葉を本に託す



農学部 鮫島玲子

昨年度の春、研究室の歓送会が市街地の居酒屋で開かれた。毎年、最後に教員から卒業生・修了生に贈る言葉を述べるのが恒例であった。今回、私には贈りたい言葉が胸いっぱいにあった。特に大学院の修了生たちは、未熟な私と共に悩みながら何年も研究に励み、そして今、社会へ巣立っていこうとしているところだった。しかし、すでに大学教員となって何回か学生達を見送っているにもかかわらず、口下手な私はいつも思いのほうが強すぎてうまく伝えられず、もどかしさを感じていた。そこで、今回は最近読んで強く共感した本を卒業生に贈ることを思いついた。

贈ったのは、坂東眞理子さんの『女性の品格』¹⁾という新書だ。昨年あまりにもブームになっていた感もあるが、新書なので受け取る側にもあまり重荷にならないだろうし、私の共感できる内容が的確に書かれており、贈る言葉としてちょ

うど良いと思った。昔ながらの価値観がそのままでは通用しなくなり、地球規模の問題が噴出して混迷の様相を見せる現代において、人生の羅針盤になるようなものを持っていてもらいたいという思いを託した。

空前の「品格」ブームの中で、私はこの本しか読んでいないが、人間として、社会人として、権力や金銭だけではない価値をみきわめ、自分の行動や生き方の芯になる信念をもとうという坂東さんのメッセージは、大きくうなずけるものだった。たとえ自分が損をしたとしても、自分の信念に従った行動が取れる強さとやさしさを兼ね備えることを「品格」としている。権力やブランドを傘に着た単なる「お上品」という意味ではない。ただ、これだけ世に知られた本のため、具体的に書いてある細かい内容についてはいろいろな意見も耳にした。私自身、失礼ながら「当たり前のことではないか?」「そこまで

品格を重視したら世の中が面白みのないものになってしまうのではないかと、思う箇所もあった。しかし、坂東さんのメッセージの主題を理解していれば、私にとっては許容範囲内だった。

今回、この本を贈る際に、男性は敬遠して読まない可能性もあると思い、「せめて、目次だけでも読んでね」と言葉を添えた。すると「もちろん、全部読みます！」と頼もしい答えが返ってきた。贈る側としては有難い言葉だった。しかし、後になって思い直したのだが、実は目次よりも「はじめに」と「あとがき」に坂東さんのメッセージは凝縮されている。これらを読むだけでも価値があると思うので、興味のある方にはぜひ読んでいただきたい。坂東さんには総理府男女共同参画室長を務められた経歴があるため、背景には「男女共同参画」という大きなテーマがある。坂東さんのおっしゃるとおり、「品格」を価値基準にすることは、競争重視、全体主義になりがちな男性より、平等主義的で個人を尊重することを好む女性のほうが得意かもしれない。品格ある男性や、品格を備える可能性のある男性を女性が選び、育てることが重要だというのだ。そのためには、品格ある女性が社会進出し、本物のリーダーとして世の中を動かす、後進を育てていくことも重要だ。男女共同参画に関しては坂東さんの『凜とした女性の基礎力』²⁾という本でデータに基づいたさらに突っ込んだ内容を学ぶことができる。

私事だが、私はこれまで、自分の女性研究者としての生き方のお手本がほとんどないと思っていた。現在4歳の息子との生活はかけがえないものだ。夫とは結婚当時から離れ離れの生活で、今も別居で週末にしか家族として一緒に過ごせない。それでも夫には半年の育児休暇をとってもらい、その後も週末には育児・家事全般にわたってできる限りのサポートをしてもらっている。そんな私にとって「家庭とは何か」というのは人生のテーマだ。主婦業のお手本としては町田貞子さんの『暮らし上手の家事ノート』³⁾

『娘に伝えたいこと』⁴⁾といった本を読んでいる。そこに描かれているのは、町田さんの凜と筋の通った人生と主婦業に対する信念と使命感であり、世の中に品格をもたらすために家庭がいかに大切であるかを知ることができる。一方で、マリー・キュリーや物理学者の米澤富美子さんといった、子どもを育てながらも家族の理解や協力を得て、真理を求めて華々しく科学の世界で活躍する能力にあふれた女性研究者たちも、私にとっては憧れの存在だ。しかしその二種類のお手本を同時に目指すのは現状では大変困難であり、男女共同参画といっても、ただがむしゃらに男性と肩を並べて競争世界で働くことへの抵抗感や、それができない負い目のような複雑な思いを抱えてきた。しかし、坂東さんはずっと以前から、今、私が立ち向かっている問題に向き合ってきたのだ。世の中の品格を保つ「家庭」的要素と世の中を動かす「リーダー」的要素を兼ね備えた人材が、今求められているのだと思う。坂東さんの経歴には遠く及ばないが、坂東さんのメッセージに触れ、少しだけ自分が目指したい方向が見えてきたように思った。

この春、社会人となった大学院の修士生と私はちょうど10歳の歳の差がある。彼らの世代の言動を見ていると、素朴でまじめな学生が多く、環境問題や農業問題についても真剣に考えているようだ。しかし、だからといってあまり深刻にはなりすぎずにボランティア活動などにも積極的だ。もしかしたら、私たちの世代よりもずっと「品格」や「男女共同参画」について受け入れやすい世代なのかも知れないと思うことがある。だとしたら、恥ずかしながら、ちょっと蛇足的な「贈る言葉」だったかもしれない。

(農学部・共生バイオサイエンス学科)

【紹介された本】 静＝静岡本館 浜＝浜松分館

- 1) 静／開架5 F 新書[159.6/B18/S]
- 2) 静／開架5 F [367.2/B18]
- 3) 静／開架5 F [590/MA16]
- 4) 静／開架5 F 文庫[159.6/MA16/B]

平成21年4月新ゲート設置

入退館方法がかわります (静岡本館・浜松分館とも)

- ・セキュリティの向上のため、閲覧室のゲートを新調しました。
- ・災害時はもとより、日常的に利用者の安全を確保するための設備です。
- ・閲覧室への出入の際、「学生証」「教職員証」もしくはバーコード付きの「図書館利用票」が必要になります。お忘れなく。

<以下は静岡本館のみ>

- ・静岡本館では、書庫の入退庫の記録機も設置します。「学生証」「教職員証」もしくはバーコード付きの「図書館利用票」が必要です。従来ご記帳いただいておりますが、その必要はなくなりました。
- ・また、静岡本館では、南側出入口が非常口専用となりました。普段はご利用になれません。正面玄関、あるいは西側出入口へお回りください。

〜〜〜教員等著作寄贈図書一覧〜〜〜

このリストは本学教職員により著作(等)され図書館にご恵贈していただいた図書を一覧にしたものです。(各館五十音順)

●本館受入

◇相原憲一 (工学部)

- ・「気づく」能力：時代の風を読み、ヒトを動かす
／相原憲一， 館岡康雄， 弘中史子著
ITSC静岡学術出版事業部
静・開架新書[336/A24/S] <共著>

◇荒川章二 (情報学部)

- ・軍用地と都市・民衆 山川出版社
静・開架[395/A63] <著>

◇伊藤恭彦 (人文学部)

- ・ポスト・リベラリズムの対抗軸／有賀誠， 伊藤恭彦， 松井暁編 ナカニシヤ出版
静・開架[309.04/A71] <共著>

◇小和田哲男 (教育学部)

- ・戦国の合戦 学習研究社
静・書庫 [210.47/O93/S] <著>
- ・名参謀直江兼続 三笠書房
静・書庫 [289.1/N490] <著>
- ・戦国武将を育てた禅僧たち 新潮社
静・書庫 [188.2/O93] <著>

◇片岡洋子 (非常勤講師)

- ・デジタル時代のアナログ力：問われる現代社会の人間力／浅間正通， 山下巖編著
学術出版会
静・開架/書庫[007.3/A86] <執筆>

◇加藤一夫 (名誉教授)

- ・プラトンの国の先住者たち 桜井書店
静・開架[131.3/KA86] <著>

◇佐藤宏樹 (名誉教授)

- ・フィボナッチのうさぎ：数学探検旅行／キース・ボール著 青土社
静・書庫[410.4/B16] <共訳>
- ・ $\sqrt{2}$ の森とアンドリュウ少年／D.フラナリー著
シュプリンガー・ジャパン
静・開架[410.4/F31] <監訳>

◇鈴木清史 (人文学部)

- ・アメリカ先住民女性：大地に生きる女たち／ダイアナ・スティア著 明石書店
静・書庫[389.53/ST3] <訳>
- ・写真集 世界の先住民族：危機にたつ人びと／

- アート・デイヴィッドソン著 明石書店
 静・書庫 [316.8/D46] <訳>
- ・エスニシティとナショナリズム：人類学的視点から／トーマス・ハイランド・エリクセン著 明石書店 静・開架 [316.8/E67] <訳>
 - ・装いの人類学／曹建南[ほか]著 人文書院 静・開架 [383.1/SU96] <編>
 - ・都市のアボリジニ：抑圧と伝統のはざままで 明石書店 静・書庫 [316.871/SU96] <著>
 - ・アボリジニ-：オーストラリア先住民の昨日と今日 明石書店 静・開架 [316.871/SU96] <著>
 - ・日本人のオーストラリア観 創元社 静・開架 [302.71/SU96] <著>
- ◇鈴木実佳（人文学部）
- ・セアラ・フィールディングと18世紀流読書術：イギリス女性作家の心の迷宮観察 知泉書館 静・書庫 [930.2/SU96] <著>
- ◇滝沢誠（人文学部）
- ・藤枝市史 資料編1 静・書庫 [215.4/F56(2(1))] <協力者>
- ◇永田守男（人文学部）
- ・会計利益と課税所得 森山書店 静・書庫 [336.9/N23] <著>
 - ・加藤盛弘教授古稀記念論文集／村瀬儀祐，志賀理共編著 森山書店 静・書庫 [336.9/MU57] <執筆>
 - ・現代会計の認識拡大／加藤盛弘編著 森山書店 静・書庫 [336.9/KA86] <執筆>
- ◇本多隆成（人文学部）
- ・東海地域史研究の三十五年（私家版） 静・開架 [215/H84] <著>
 - ・近世東海地域史研究 清文堂出版 静・開架 [215/H84] <著>
- ◇前山隆（退職教員）
- ・合鐘（カリリョン）の記憶：遺歌集／陣内しのぶ著 御茶ノ水書房 静・書庫 [911.168/J52] <編集>
 - ・異土の歌：遺歌集／弘中千賀子著 静・書庫 [911.168/J52] <編集>
- ◇村越真（教育学部）
- ・GISと空間認知：進化する地図の科学／村越真，若林芳樹編著 古今書院 静・書庫 [448.9/MU46] <共著>
- ◇静大教育学部附属特別支援学校
- ・特別支援学校は今！：一人一人の教育的ニーズに応じた授業づくりとセンター的機能の実際 静大教育学部附属特別支援学校 静・開架 [378/SH94] <編集>
- ◇静大教育学部附属浜松中学校
- ・中学校「セルフ・エスティーム」をはぐくむ授業づくり：自己肯定から自尊感情への挑戦／安東茂樹，静大教育学部附属浜松中学校著 明治図書出版 静・開架 [375.1/A47] <共著>
- 分館受入
- ◇浅間正通（情報学部）
- ・デジタル時代のアナログ力：問われる現代社会の人間力 学術出版会、日本図書センター（発売） 浜・開架 [007.3/A86] <共著>
- ◇宇都宮裕章（教育学部）
- ・多文化共生社会に根ざす協働学級の構築に関するカリキュラム開発実践研究（科学研究費補助金（基盤研究(B))研究成果報告書） 静岡大学 浜・書庫 [375.1/U96] <編著>
- ◇梅本宏信（工学部）
- ・エレクトロニクス薄膜技術（CMCテクニカルライブラリー 287）シーエムシー出版 浜・開架 [549.8/SH83] <執筆>
- ◇大坪順次（工学部）
- ・Semiconductor lasers : stability, instability and chaos. 2nd, enl. ed. (Springer series in optical sciences. 111) Springer 浜・開架 [549.95/O87] <著>
- ◇杉浦彰彦（創造科学技術大学院）
- ・ワイヤレスネットワークの基礎と応用：スペクトル拡散通信／CDMAの原理と無線LAN／Bluetoothの詳細（C&E基礎解説シリーズ6）CQ出版

浜・開架[547.5/SU48] <著>

- ・IMT-2000携帯電話通信技術ガイド：基礎からわかるCDMA リックテレコム

浜・開架[547.62/SU48] <著>

- ・Bluetooth技術解説 ソフト・リサーチ・センター

浜・開架[547.5/SU48] <著>

◇山下光司 (創造科学技術大学院)

- ・厚生労働科学研究費補助金医療機器開発推進研究事業：がんを安全・高感度で鮮明に画像化できるナノサイズシュガーボールデンドリマー型新規MRI造影剤の開発研究：総括研究報告書 山下光司

浜・書庫[492.43/Y44] <執筆・代表>

◇和田秀樹 (理学部)

- ・同位体地球化学の基礎 シュプリンガー・ジャパン

浜・開架[450.13/H81] <翻訳>

●本館・分館共通受入

◇上利博規・滝沢誠 (人文学部)

- ・静岡の歴史と文化の創造 / 上利博規・滝沢誠編 知泉書館

静・開架/浜・開架[215.4/A19] <共著>

◇大野旭 (人文学部)

- ・モンゴルのアルジャイ石窟：その興亡の歴史と出土文書 風響社

静・書庫/浜・開架[222.6/Y72] <著>

◇角張嘉孝 (農学部)

- ・「友好の森」植林11年の軌跡/むさしの・多摩・ハバロフスク協会著 むさしの・多摩・ハバロフスク協会

静・書庫/浜・書庫[519.829/MU82] <執筆>

◇佐々木敏光 (教育学部)

- ・ヴィヨンとその世界：ヴィヨンという「美しい牡」(芥川龍之介)がいた 沖積舎

静・開架/浜・開架[951/SA75] <著>

◇佐藤太一 (名誉教授)

- ・Preparation and characterization of aluminium hydroxides and aluminas.

Litarvan Literature

静・書庫/浜・書庫[565.52/SA85] <著>

◇戸田三津夫 (工学部)

- ・「快適空間『佐鳴湖』の創造」研究報告書：静岡県戦略課題研究/静岡県産業部振興局研究調整室編 本冊～概要版

静・書庫/浜・開架[519.4/SH94/1-2] <執筆>

◇橋本剛 (人文学部)

- ・大学生のためのソーシャルスキルサイエンス社

静・開架/浜・開架[377.9/H38] <著>

◇林部敬吉 (情報学部)

- ・人間関係を科学する：心と心をつなぐ力 ブイツーソリューション(星雲社発売)

静・開架/静・書庫/浜・開架[361.4/H48] <著>

図書館の動き

◆行事

静大フェスタ

<平成20年5月31日(土)於：青葉シンボルロード>

静岡大学創立60周年(平成21年6月)の前年事業として様々な催し物を行い、図書館では「静岡大学のあゆみ」と題した写真パネル展を行った。当日は多数の来場者が訪れ、盛況のうちに終了した。

◆会議等

平成20年度東海地区国立大学図書館協会総会

(平成20年4月21日(月)於：豊橋技術科学大学)

附属図書館長、学術情報部長、図書館情報課長が出席。

第3回「国立大学附属図書館の課題に関する館長懇談会」、平成19年度国立大学図書館協会地区助成事業「東海地区デジタルレファレンスフォーラム」等の報告があった。

引き続き、会長館の選出、第55回国立大学図書館協会総会に向けた準備事項、電子ジャーナルの持続的利用を目指した学術情報流通改革、学生に対する大学図書館の学習・教育支援の強化、平成20年度国立大学図書館協会地区助成事業(案)、について活発な協議が行われた。

第55回国立大学図書館協会総会

＜平成20年6月26日（木）於：仙台国際センター＞
附属図書館長、学術情報部長、図書館情報課長が出席。

91大学・機関が出席し、協会活動についての経過報告に続き平成19年度決算報告、平成20年度事業計画（案）・予算（案）などについて協議が行われた。また、文部科学省研究振興局情報課長から、近年の国立大学を取り巻く動向、科学技術審議会の動向、学術動向を巡る最近の動向などについての所管事項説明があった。引き続き、テーマごとにワークショップが行われ、学習・教育支援を強化するために大学図書館は何をすべきか、電子ジャーナルの継続的利用を目指した学術情報流通改革、の2つのテーマについて活発な討議が行われた。

平成20年度静岡県大学図書館協議会総会

＜平成20年7月29日（火）於：アクトシティ浜松＞
附属図書館長、学術情報部長、副課長が出席。

18館から23名が参加し、平成19年度経過報告のあと、平成19年度決算報告（案）及び同会計検査報告、平成20年度事業計画（案）及び同予算（案）等についての協議が行われた。また、加盟館状況報告では、設置形態が異なる図書館ごとに最近の図書館の状況について報告があり、加盟館相互の連携を深める上で有意義な情報交換が行われた。

静岡大学附属図書館外部評価委員会

＜平成20年8月1日（金）於：静岡本館および浜松分館＞

組織評価の一環として実施し、組織の概要・自己評価結果の説明、施設・設備等の見学・調査と質疑応答の後、外部評価委員による講評が行われた。附属図書館長のリーダーシップの下、学術リポジトリへの積極的な取り組み等が評価される一方、次期中期目標・中期計画の立案に際し、学生用図書費・電子ジャーナル・機関リポジトリといった図書館の課題を明確に位置づけられるよう積極的に提案していくこと等が求められた。

平成19年度第4回附属図書館委員会

平成20年3月19日（水）

○審議事項

1. 平成20年度図書館予算について
2. 平成20年度附属図書館開館日程について

○報告事項

1. 平成21年度概算要求について
2. 平成19年度研究室貸出図書の点検及び提出状

況について

3. 平成20年度新入生セミナーにおける図書館利用セミナー（ベーシック編）実施の依頼および図書館利用セミナー（アドバンス編）開催についての案内について
4. その他
 - 1) 外部出席会議等について
 - 2) 電子ジャーナル及び二次資料データベース利用統計について

平成20年度第1回附属図書館委員会

平成20年4月24日（木）

○審議事項

1. 附属図書館関連委員会委員等について
 - (1) 広報委員会委員
 - (2) 総合情報処理センター運営委員会委員
 - (3) 図書館通信編集委員
 - (4) 附属図書館自己点検・評価実施委員会委員
 - (5) 静岡大学学術成果リポジトリ検討部会委員
2. その他
 - (1) 図書の廃棄について
 - (2) 浜松分館でのパソコン盗難について

○報告事項

1. 平成20年度附属図書館利用セミナーについて
2. 平成20年度学生モニターについて
3. 平成20年度次世代学術コンテンツ基盤共同構築業委託事業提案書の提出について
4. その他
 - (1) 平成20年度図書館予算について
 - (2) 平成20年度目的積立金予算要求について
 - (3) 「未来を拓く静岡大学～ビジョンと戦略～」について
 - (4) 電子ジャーナルについて

平成20年度第2回附属図書館委員会

平成20年7月8日（火）

○審議事項

1. 平成19年度図書館経費決算について
2. 平成20年度図書館経費予算（案）について
3. 平成20年度学生用図書購入費の配分（案）等について
4. 附属図書館自己評価書について

○報告事項

1. 電子ジャーナル経費について
2. 附属図書館利用状況について
3. 平成20年度図書館利用セミナー（ベーシック編）の実施報告について
4. 選書キャンペーンについて

5. 研究室貸出図書の点検予定について
6. 停電における図書館の休館について
7. 学術機関リポジトリについて

平成20年度第3回附属図書館委員会

平成20年12月16日 (火)

○審議事項

1. 附属図書館浜松分館長選考規則の一部改正について
2. 不用決定の取扱要項の改正について

○報告事項

1. 電子ジャーナル&二次資料データベース利用ならびに契約状況について
2. 本館・浜松分館施設整備について
 - 1) 浜松分館書庫
 - 2) 入退館システム
 - 3) 本館および浜松分館リニューアル構想
3. 自己評価・外部評価について
4. 平成20年度附属図書館利用セミナー年間実施報告について
5. その他
 - (1) 年末年始の開館について

◆人事異動

平成20年3月31日付

- 千葉 清人 (学術情報部長→定年退職)
 山本 孝 (研究協力・情報図書チーム主査 (図書情報担当) →定年退職)
 藤田みよ子 (研究協力・情報図書チーム主査 (レファレンス担当) →定年退職)
 大石 博昭 (図書館情報課長→新潟大学学術情報部学術情報管理課長)

平成20年4月1日付

- 大久保政博 (島根大学学術国際部長→学術情報部長)
 渡邊 貴子 (東京大学大学院総合文化研究科附属アメリカ太平洋地域研究センター助教→図書館チーム主任 (図書情報担当))
 森部 圭亮 (新規採用、分館スタッフ)
 荃田美保子 (研究協力・情報図書チーム副課長 (分館担当)→図書館情報課長)・研究協力・情報図書チーム主査兼務 (分館資料担当) を免除
 溜瀧 文子 (研究協力・情報図書チーム主査 (雑誌情報担当)→図書館チーム副課長 (分館担当))・図書館チーム主査 (分館資料担当) を兼務
 塚本 雅美 (研究協力・情報図書チーム副課長→図書館チーム副課長)・図書館チーム主

査 (図書情報担当) を兼務

平成20年7月1日付

小野 華子 (図書館チームスタッフ→図書館チーム主任 (雑誌情報担当))

平成20年8月1日付

木下 佳明 (図書館チーム主任 (企画調整担当)→財務施設部経理・契約チーム主査 (調達第二担当))

澁谷 卓三 (農学部総務係長→図書館チーム主査 (企画調整担当))

平成20年10月1日付

渡邊 貴子 (図書館チーム主任 (図書情報担当)→図書館チーム主査 (図書情報担当))

塚本 雅美 (図書館チーム副課長)・図書館チーム主査 (図書情報担当) を免除

平成21年1月1日付

名波 一明 (筑波大学附属図書館情報サービス課図書サービス係主任→図書館チーム主任 (レファレンス担当))

◆組織編成替

平成20年4月1日より事務組織が研究協力・情報図書チームから、図書館職員のみで構成される図書館チームに替わりました。

◆平成20年度附属図書館委員会委員

館長	加藤憲二	
分館長	雨宮正彦	
人文学部	朴 根好	鈴木清史
教育学部	小西潤子	鳥居 肇
情報学部	北澤茂良	
理学部	依岡輝幸	坂本健吉
工学部	東 直人	小野 仁
農学部	釜谷保志	西田友昭
創造科学技術大学院	林 愛明	
法務研究科	石尾賢二	
電子工学研究所	田中 昭	村上健司
大学教育センター会議	半田智久	
学術情報部長	大久保政博	

◆平成20年度図書館通信編集委員

館長	加藤憲二	
分館長	雨宮正彦	
法務研究科	石尾賢二	
(附属図書館)	荃田美保子	真中 進
	杉山泰代	高橋里江
	小林由佳里	森部圭亮

これから新たに静岡大学で学び、学生生活を始める新入生の皆さんへ

図書館利用セミナー(ベシク編) 開催のお知らせ

附属図書館では「図書館利用セミナー(ベシク編)」を4月から6月にかけて、新入生セミナーの1コマで実施します。このセミナーで図書館の基本的な利用方法や資料の探し方をマスターしましょう。もし、「授業で課題が出たけど、どうしよう?」「必要な資料はどこ?」ということがあったら、そんな時こそ、セミナーで身に付けたチカラが役に立ちます。

● セミナー内容 ●

図書館の利用方法

(図書館サービスおよび施設・設備案内)

- ・ 図書館ホームページ・WEBサービスの紹介
- ・ 本学所蔵資料の探し方(OPACの使い方・検索実習)
- ・ 館内ツアー(本館:書庫、浜松分館:閲覧室)

図書館は皆さんの場所です。上手に活用して、より充実した学生生活を過ごしてほしいと思います。

いつでも気軽に図書館へ来て、読書や勉強、ときにはリラックスできる空間を楽しんでください。

開館日程〔2009年4月～7月〕

4月						
日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30		

5月						
日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

6月						
日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30				

7月						
日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

- 9:00～22:00
- 9:00～19:00
- 休館

※開館日・開館時間は変更されることがあります。臨時に休館する場合は、別途お知らせします。

